

第 17 回日本食海外普及功労者表彰 受賞スピーチ

竹内 浩之

南米ベネズエラから参りました、竹内浩之と申します。この度は、大変栄誉ある賞をいただきましてありがとうございます。

私はベネズエラの首都カラカスで、日本食レストラン「アビラ亭」を経営しております。私が初めてベネズエラへ行ったのは、今から 45 年前。在ベネズエラ日本国大使館の公邸料理人として参りました。そのあと、当時カラカスで唯一日本食を提供していたレストラン「アビラ亭」に入社いたしました。

当時は、現地で日本を知る人は少なく、日本食は一部の限られた人だけに好まれた食事でした。醤油、お米、味噌といった基本的な日本食材も入手困難で、直接マイアミに買い付けに行ったり、食品輸入許可申請のため当地の農林省や保健所に何度も通ったり、自分でもよくやったなと思っています。

その後、アメリカの寿司ブームの影響で、ベネズエラでも日本食レストランが数多くできました。私もこの流れにのり、2000 年、「アビラ亭」とは別にファーストフードの店をつくりました。ベネズエラの日本食は、このファーストフードで広がったと思います。味や材料も現地化した巻き物が大多数をしめます。

1992 年に始まった日本大使館の日本文化週間でも、毎年のように料理講習会に呼んでいただきました。ベネズエラの幅広い層と交流しています。

今回いただきました賞は、ベネズエラで 45 年にわたり日本食の提供に従事してきた数多くの思い出を素晴らしいと感じさせてくれます。

今後も引き続き、幅広く日本食をベネズエラの方々に紹介し、出来ましたら、日本産の食材をベネズエラで楽しんでいただければ、努めていこうと思っています。ありがとうございました。